

## イノシシの好き嫌い

6月1日に受粉しただろうと予測して札をたてておいたスイカを収穫した。受粉後、42日前後が食べ時で、45日を過ぎると食味が落ちたり棚落ちしたりする。40日以前だとまだ少し若い。孫が遊びに来ると聞いていたので、家内に食べさせてやってほしいと言って出勤した。孫は喜んで食べ、4分の1は持って帰らせたとのこと。家内はスイカを食べないので残りの2分の1を一人で食べることになった。二日かけて4分の1を食べたが、三日目には食傷気味になった。だから、もったいないようだが畑のほとりに捨てることにした。その日は、結実のよくなかったトウモロコシと曲がったキュウリと虫くいナスと大きくなり過ぎたシロウリを捨てた。

さて、イノシシが一番好きな物は何でしょう。一番嫌いなものは何でしょう。

翌日、畑に行くとトウモロコシは軸ごと全部食べている。スイカは座って手に持って食べたのではないかと思えるほど上手に食べ、皮だけを残している。ナスとキュウリとシロウリは手をつけていない。次の日には、ナスとシロウリとスイカの皮は食べていたが、キュウリだけは残っていた。キュウリは嫌いなんだなと思ったが、その次の日には、キュウリも食べていた。結局、イノシシはわたしが捨てた野菜を全部食べてくれた。食べてくれたという言い方も変だが、野菜を捨てておくと腐っていやなおいがるから、正直ありがたい。

だから、答えは、好きな物はトウモロコシとスイカで、嫌いな物はキュウリということになる。

10年ほど前までは、農作業をしていると、「文ちゃん、精が出るのなあ」「文朗さん、がんばるとんなあ」と近所のおじちゃんやおばさんが声をかけてくれた。そうしたおじちゃんやおばちゃんも一人また一人と亡くなって、今は、農作業をしても誰も話しかけてはくれない。わたしの畑の周りは、耕作放棄地というよりも原野といった方がよいような状況で、畑はぐるりと波板トタンで囲っている。そうしないとイノシシに根こそぎやられてしまう。ただ、イノシシは元来臆病な動物らしく、つき倒せば容易の入れる波板トタンの防護柵の中に今のところ入ったことはない。さらに、深刻なのがカラスで、スイカもトウモロコシもトマトもシロウリも防鳥網をかけていないと、そろそろ収穫時だなという時をねらって食べてしまう。

休日になると、一人で農作業をしているが、頭上ではカラスがわたしの隙をねらっている。もしかすると、イノシシも山影からわたしが柵をし忘れて帰ってくれないかなと伺っているのかもしれない。わたしの農作業に関心をもってくれているのは、イノシシとカラスだけと思うと、寂しいような、可笑しいような気持ちになる。でも、誰に遠慮することもなく自分のやりたいように作業をするのは楽しい。この趣味はまだまだ続きそう。